



# お江戸舟遊び瓦版 1064号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり  
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

第21回国土文化研究所オープンセミナー2024

日時：10月17日 13:30~16:40

場所：日本橋社会教育会館 8階ホール

主催：(株)建設技術研究所 国土文化研究所

講演 小林一樹 (都立大学名誉教授)

「首都直下地震で首都圏はどうなる、どうする」

## 1. 荒ぶる自然と社会が脆弱化する21世紀

### ●自然災害が連続する“荒ぶる21世紀”

- ・大地動乱…多発する大地震・火山噴出
- ・大気乱流…多様化する気象・超巨大台風
- ・大水氾濫…多発する豪雨・土砂災害・洪水

### ●要支援者が増大する“脆弱化する地域社会”

- ・高齢社会…高齢化比率が急増する社会
- ・国際化…外国人が激増する国際社会化
- ・コミュニティの崩壊…地域の間人関係の喪失

### ●高齢者が犠牲者の8割以上を占める時代：

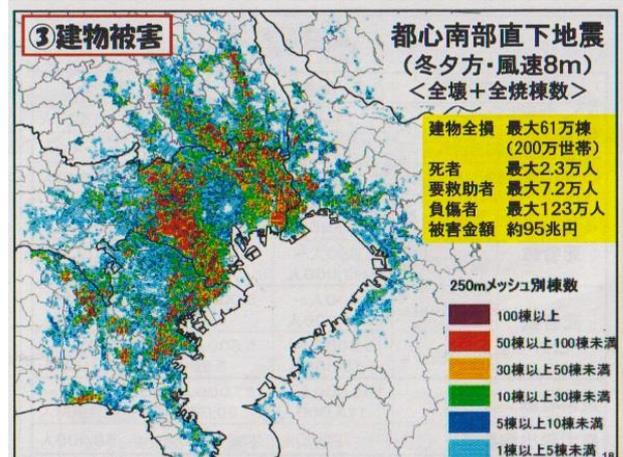
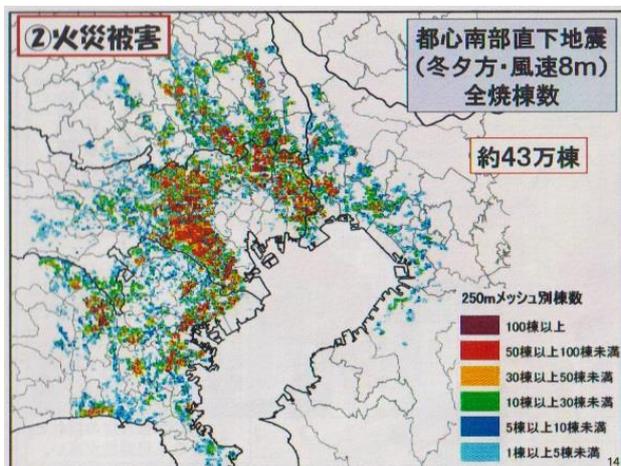
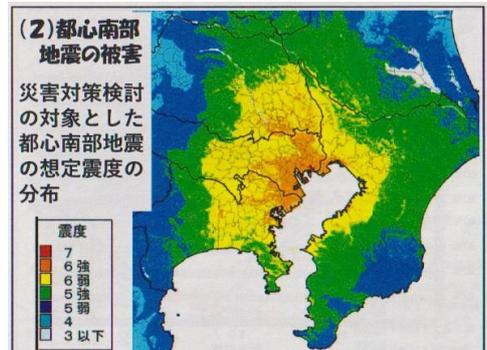
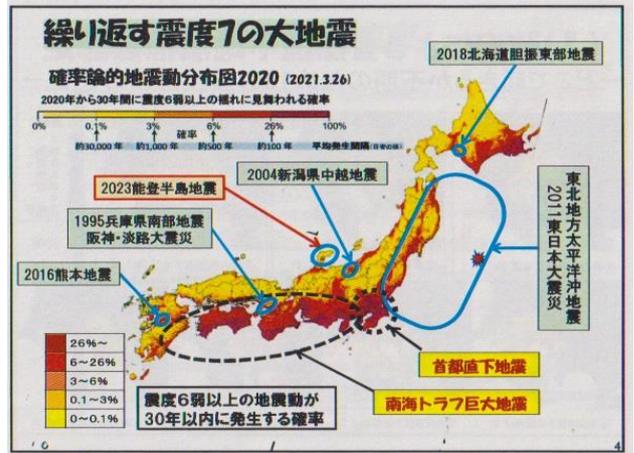
- ・水害も震災も、直接死も関連死も“高齢化”

## 2. 繰り返す震度7の大地震

- ・1995年兵庫県南部地震、2004年新潟県中越地震、2011年東日本大地震、2016年熊本地震、2018年北海道胆振東部地震、2023年能登半島地震と続き、南海トラフ巨大地震、首都直下地震が予想されている。

## 3. 首都直下地震：

都心南部地震の被害は右図のように中心地震度7、周囲地方5が予想されている。火災被害も皇居を中心の都心部中央の広範囲で、建物被害も同様に都心中心部の皇居を中心に広範囲と予想されている。



4. 人的被害：冬・夕方・風速 8m/s では東京区部は死者 8000～11000 人が予想され、エレベータ 5～12 万人が予想され、人的被害は発生時期などで変化が予想されている。

**人的被害—都心南部直下地震(冬・夕方・風速8m/s)—**

原因	建物倒壊	屋外転倒落下		傾斜地崩落	火災	犠牲者	
		家具	倒落下			死者数	万比
埼玉	700人	90	20人	—	1,600～3,000人	2,400～3,800人	6.2
千葉	400人	50	20人	—	500～1,000人	900～1,400人	2.6
東京	4,000人	400	300人	20人	4,500～8,400人	8,900～13,000人	8.0
区部	3,700人	300	300人	10人	4,000～7,400人	8,000～11,000人	8.8
神奈川	1,300人	100	100人	40人	2,100～4,000人	3,600～5,400人	6.8
合計	6,400人	600	500人	60人	8,900～16,000人	16,000～23,000人	—

1) 茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県では、死者は想定されなかった。  
2) 万比：2010国勢調査と2008東京都市圏パーソントリップ調査に基づく夕方人口1万人あたりの死者数(推計)

**エレベーター等からの救出が必要となる閉じ込め者 (内閣府2013)**

エレベーター閉じ込め者数	8時	12時	18時
事務所	4,700	17,300	9,700
住宅	2,100	100	1,400
合計(人)	6,800	17,400	11,100

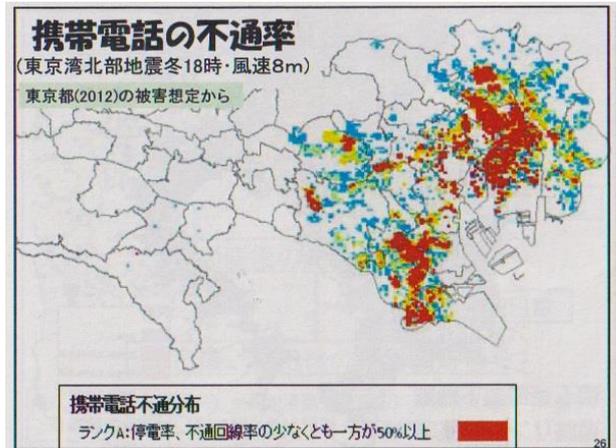
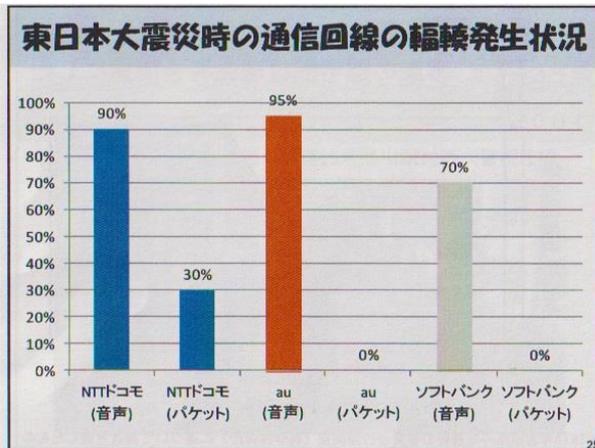
  

	閉じ込め発生建物(棟)	閉じ込め発生エレベーター(台)
事務所	4,900	18,400
住宅	10,000	11,700
合計	14,900	30,100

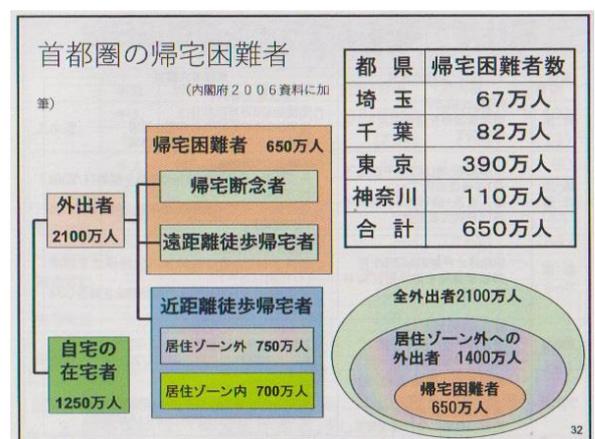
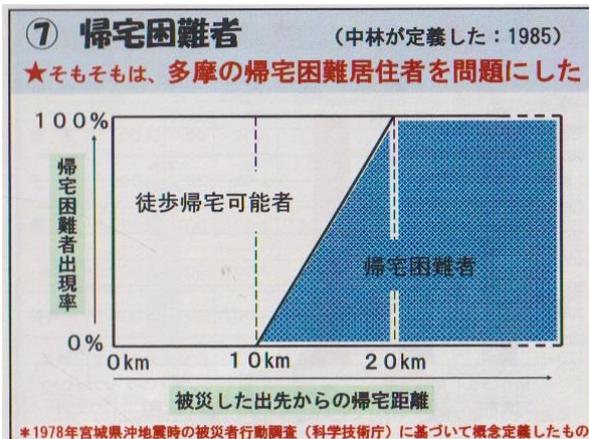
  

揺れによる倒壊建物への閉じ込め者	5～12万人
------------------	--------

5. 通信障害：東日本大震災時の通信回線の輻輳発生状況は下図のようで、東京湾北部地震冬 18 時は 23 区を中心に広範囲に及ぶことが予測されている。



6. 帰宅困難者：首都圏では困難者問題が大きく、東京では 390 万人にもなる。安易な帰宅はダメ。



7. 被害想定の見える化が必要。直下地震の被害様相をイメージすること。  
8. 高齢化社会では心(耐震化意識の形成)・技(耐震社会の形成)で総合耐震化を！！  
所感：貴重な首都直下地震防災の講演を聞くことができた。詳細な予測図を用いた講演は素人にも解りやすいものだった。しかし、江東5区マイナス地域防災を考える会の身には、大型台風や首都直下地震時の“荒川氾濫・大型洪水防災”について詳細な予想を聞きたいと痛感する。(文責 中瀬)